INTERVIEW

SC 認証の市では

厚木市セーフコミュニティ
総合指導員
倉持 隆雄さん

SCは、安心安全のまちづくりであると同時に人と人との絆づくりでもあります。

厚木市は、多発する犯罪への危機感をきっかけに平成14年から様々な防犯活動を展開し、結果として犯罪は4割近く減少しました。それに反して住民の不安感は減少せず、平成20年にSC活動を取り入れたことで徐々に不安感が減少。10年をかけて地域力が高く犯罪の起こりにくい、美しいまちになりました。

厚木市では、SCという一つの目標に取り組むことで住民同士の信頼感や一体感が生まれ、地域が活性化し、自治会内でお年寄りの買い物支援を行う「お助け隊」が活躍するなど色んな形で市民協働が推進されています。

5つのまちが合併した甲賀市においても、SCの手法によってより一体となったまちになるのではないでしょうか。

期待できる市民連携の活動

たとえば、平成19年から平成23年の人口動態統計によると市内で自殺により亡くなった方は年間平均25．8人で、人口10万人当たりに換算すると国や県の平均より高くなっているというデータがあります。また、高齢者の事故やけがについては、高齢者が交通事故のなかで最も多い当事者となっています。一方で自宅での転倒や、70歳以上の方がのどに食べ物を詰める事例が多いということなど、警察や救急搬送のデータが示しています。

5つの対策委員会では、それぞれ関係団体から参画いただいた10人前後の委員の皆さんにより、現在、さまざまなデータを収集し、経験を踏まえながら事故やけがの原因を分析し、効果的な対策と予防策の仕組みを検討する作業が続けられています。

認証の審査は来年になりますが、取り組みの考え方や方向性がSCに沿っているかどうかを確認するための事前審査が今年5月22日、23日の両日行われます。台湾と韓国から審査員を迎え、あい甲賀市民ホールと碧水ホールが会場となります。一般公開ですのでどなたでも審査の様子をご覧になれます。

SCの取り組みによって、事故やけがが減ることはもちろん、健康づくりや交通事故防止など、市民皆さんの連携のもとで活発な活動に広がり、安心安全な甲賀市へつながることが期待できます。これから定期的に広報紙や行政番組を通じてお知らせしていきますので、ご理解をお願いします。

明日も笑顔で
安心安全な理想郷へ
甲賀市
私たちはセーフコミュニティをめざします

SC事前審査日程

■日時／5月22日（木）・23日（金）

■会場／
①：碧水ホール
②：あいこうか市民ホール展示室

■審査日程／（　）内の番号は会場

【5月22日（木）】
●9時15分～9時45分
全体説明（①）
●10時～10時45分
外傷サーベイランス委員会の報告（①）
●11時5分～11時50分
自殺対策委員会の報告（②）
●13時30分～14時15分
交通安全対策委員会の報告（①）
●16時～16時45分
高齢者の安全対策委員会の報告（②）

【5月23日（金）】
●9時15分～10時
子どもの安全対策委員会の報告（②）
●13時45分～14時30分
災害対策委員会の報告（②）
●16時～16時30分
全体講評（①）

※日程は、審査の都合上、変更になる場合があります

対策委員長に聞く

セーフコミュニティはこうして進めたい

対象者へ効果的な取り組みを

自殺対策委員会
西澤 毅さん

市では、年間平均25、8人の尊い命が自殺によって失われています。

委員会では、自殺にいたる原因や背景について分析、対象の絞り込みを進め、効果的な取り組みを検討しています。また、気軽に相談していただけるよう相談窓口の充実やゲートキーパーの養成などを行い、今後関係機関が連携し合うことで対策に力を入れていきたいと思っています。

高齢者の交通安全と転倒予防を優先して

高齢者の安全対策委員会
本馬 勲男さん

高齢者を取り巻く様々な状況の中で、特に高齢者の安全に主眼を置き対策を検討しています。多種多様な問題がある中、交通安全・転倒などの事故防止・高齢者（特に認知症の方）の虐待・認知症に絞り、その中でもまずは、交通安全と転倒予防を優先的に進めています。

設備などのハード面はもちろんですが、それ以上にソフト面を重視し、意識の改善を目標に、啓発を中心に取り組みを進めていきたいと思います。

地域の力で子どもに安全環境を

子どもの安全対策委員会
吉久 義則さん

委員会では、特に自転車の交通事故が課題に挙げられました。交通安全については今までの取り組みとあわせてこれからの対策を検討し、具体的に進めるとともに、他にも家庭内での小さい子どものけが、虐待、いじめを中心に、ありとあらゆる子どものけがを課題として、解決に向け現状を把握し情報収集をしていきます。

子どもは、地域で守り育てるものです。地域の力が高まることで、安全に対する意識や取り組みも高まればと思っています。

広範囲に及ぶ交通網を認識して

交通安全対策委員会
近藤 和彦さん

甲賀警察署管内の甲賀・湖南2市は、国道含め県道以上の道路が総延長2万キロもあり、さらに、市内には3つのインターチェンジを有しています。甲賀市は、交通の要衝であるとともに広範囲だという認識を持ち、市内だけでなく通過する車、人の交通安全も配慮しなければなりません。

事故事例をデータから分析し、対策を検討していくほか、意識を高めるため地道な啓発活動を続け、事故の減少に取り組んでいきたいと思います。

地域や家庭での防災力向上をめざして

災害対策委員会
福井 毅さん

多くの方が災害に対し不安を感じている一方、十分な防災対策がなされていないことを受け、委員会では、地域などでの防災力の向上、また、各家庭における防災対策や身近に潜む危険を予防する対策に取り組むこととしました。

防災・減災の意識が低い、また住民の繋がりが希薄という課題から、具体的には、家具転倒防止対策・家庭内備蓄の普及啓発、自主防災組織や地域の防災活動の活性化に繋がる取り組みを進めていきます。

明日も笑顔で
安心安全な理想郷へ
甲賀市
私たちはセーフコミュニティをめざします